



令和3年11月17日（水）発行

学校だより

No.11

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

心は見えない、でも表すことができる（学校集会より）

心には「嬉しい・楽しい・不安・悲しい」など様々な状態があります。しかし、心そのものは見ることはできません。でも、その人を見ると心の状態が分かることがあります。それは、表情や行動などからその人の心の状態を読み取ることができるからです。つまり、心そのものは見ることはできませんが表すことができるのです。

では、どのように表すことができるのでしょうか。代表的な表し方が3つあります。それは、上記にあるように「表情・行動」です。もう一つは「言葉」です。嬉しいとき、表情はにこやかになり、行動や言葉は「やったー」という言葉を発しながら両手を上げるなどの行動を取ります。悲しいとき、表情は暗くなり、行動や言葉は「悲しい」とつぶやきながら涙を流すことがあります。

さて、本年度の重点目標である「やる気・勇気・根気」も心を表しています。ですから、その人の表情・行動・言葉から、「今、その人はやる気を出して頑張っているな」「勇気を出して友達を助けているな」「根気を出して粘り強く取り組んでいるな」と分かったら、是非、その人を応援してあげてほしいと思います。そうすることによって、自分も「やる気・勇気・根気」を発揮しているとき、誰かがそれに気付いてくれて自分を応援してくれます。そして、西中が益々支え愛に溢れる温かい学校になっていきます。

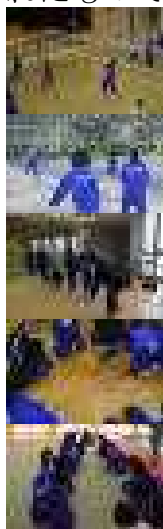
自分達の手で創り上げた＜西中祭＞

生徒会主催の「西中祭」が10月26日（火）に開催されました。この生徒会行事は、昨年度新型コロナの影響で多くの学校行事が中止となってしまった代替え行事として行われたものです。本年度も合唱コンクールやマラソン大会が中止され学級対抗行事が減ってしまったため、昨年度の成果を生かして「西中祭」が開催されました。本年度の「西中祭」が昨年度と大きく違うのは、**運動会に引き続き実行委員会が組織され、生徒の手によって創り上げられた生徒会行事**だということです。

運動会終了後から実行委員を中心に、新型コロナ対策を講じた上で全員が楽しめるように、種目を何にするか、ルールをどう工夫するかなど昼休み等を返上して話し合い準備を進めてきました。

当日は、心配された天気もよくなり絶好の西中祭日和となりました。実行委員を中心にしっかり準備した成果で、どの種目（バレー・ドッジボール・ポッチャ・トランプ・上毛カルタ）も大変盛り上がり、勝利目指して真剣に取り組む顔、点を取って大喜びするはじけるような笑顔、逆に点を取られてしまって悔しがる顔、どれも全力で取り組んだからこそ見せる表情ばかりでした。そして、閉会式の最後に生徒会長が、全校生徒に向けて実行委員のこれまでの頑張りを紹介し感謝とともに賛辞を送りました。見ていて、「なんて素晴らしい生徒達なんだ」と感激し、生徒達がしっかり支え合っている姿に感動しました。

「西中祭」を通して生徒の主体性と支え愛が大きく伸びるとともに、各クラスはもとより西中全体の絆が更に深まりました。



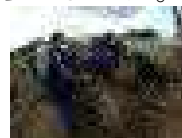
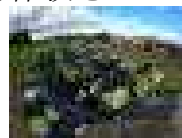
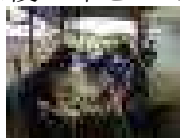
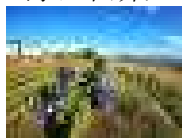
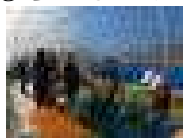
大変お世話になりました＜PTA花植え作業＞

新型コロナの影響でなかなかPTA活動ができない状況が続いていましたが、少しずつ新型コロナが落ち着いてきて保護者の方々と生徒・職員が協力して「PTA花植え作業」を10月23日（土）に実施しました。当日は風が強くやや寒い日でしたが、参加者全員で協力して花壇やプランターに多くのパンジーを植えることができ、「きれいな西中」をつくることができました。協力していただいた全ての方々に感謝いたします。

よく「環境が人をつくる」と言われます。きれいな西中を見ていると、ますます西中の生徒の心がきれいになっていくと確信しました。

収穫の大変さと喜びが味わえた＜農業収穫体験（2年）＞

昨年に引き続き新型コロナ予防の観点から、職場体験学習の代わりに農業収穫体験を川田の奥利根自然菜園さんのご協力のお陰で実施することができました。当日（11/12）は、気持ちのよい秋晴れで作業するには絶好の天候のもと、午前中は4班に分かれてサヤエンドウの収穫・コンテナ運び・ミニトマトの収穫・大根洗いをローテーションで体験させてもらいました。午後は、クラス毎に白菜の収穫と草むしりも体験させてもらいました。



どの班も熱心に仕事に取り組み、大根洗いでは冷たい水を我慢してきれいに泥を落とすことができました。コンテナ運びでは、コンテナとコンテナの間に一つコンテナを入れて一度に3個運べるように工夫するなど体験を通して一回り大きく成長することができました。また、この体験を通して野菜等の食材への感謝の気持ちと命の大切さを学ぶことができました。

豊かな発想と地道な努力の賜＜県ロボットコンテスト優勝・準優勝＞

3年生の有志が2チームに分かれ、1ヵ月以上にわたりロボットの製作と操作の練習を重ね、11月6日（土）の県ロボットコンテスト（ビデオ審査）において見事に優勝・準優勝に輝きました。参加14チーム中、目標タイムである1分30秒をクリアしたのは西中2チームを含め3チームのみでした。その中でも、西中が最速と2番目のタイムをたたき出したのです。そして、2チームとも県からの推薦を受け関東大会の出場を決めました。

私が練習の様子を見に行った時、「校長先生もやってみませんか」と言われ挑戦してみました。とても難しくロボットのアームで1本の円柱を目的箇所に入れるのも大変でした。それを1分30秒以内に8本入れるのは、とても高度な技術が必要だと思いました。目標を見事にクリアできたのは、豊かな発想で工夫したロボットを製作し、また失敗をしながらも改善策を考え地道に練習を重ねた成果です。そして、各チームが協力し支え合ったからこそその結果だと思います。

新たなことに挑戦する主体性とお互いに協力し合う支え愛で、西中の歴史に新たな1ページを刻んでくれました。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》

西中祭の記事でも紹介しましたが、閉会式で生徒会長が実行委員の頑張りを紹介する時、誰が指示をしたわけでもなく並んでいる生徒が一斉に生徒会長の方へ体を向けたのです。生徒会長は進行用のマイクを使って話していたので、並んでいる生徒から見ると右前の端に立っていたのですが、近くの1年生から遠くの2・3年生までしっかりと体を生徒会長の方に向け話を真剣に聞いていました。話をしっかり聞くために話をする人の方に体を向けるのはとても大切なことです。西中生は、とても素晴らしい習慣が身に付いています。



